

# よってきましょう!

令和4年度秋号

- 今年度の活動計画 -



撮影 宮本 織雄さん(中村)  
長野県公民館運営協議会 第18回フォトコンテスト入賞

## 「住んで良かった 住み続けたい今井」

今井福祉協議会は今井地区の様々な組織・団体と  
連携しながら、住民の福祉向上を図る活動を進めていきます。

# 今年度の活動計画

## 高齢者部会

高齢者の組織との連帯と情報の交換を通して、高齢者の居場所・仲間づくりを支援します

### 今年度の事業計画案

#### 高齢者の仲間づくり

高齢者クラブ、サロンなどの実態の把握や情報交換、新たな高齢者サークルの立上げも支援します。様々な地域行事へもお誘いし、仲間の輪を広げるお手伝いをします。

#### 交流活動

保育園・小学校・松養・児童センターと交流します。昔の正月の遊び、豆腐作り、戦争時代の話、歴史ウォーキングなど様々な計画をしています。子ども育成会にも協力します。

#### 伝統の継承

昔の遊び道具とその指導者探し、廃棄される民具・時代の記録の保存、紙芝居・方言歌留多の作成などを地域の団体と協力して行います。

### 開催予定

令和5年1月  
小学校・育成会  
松本養護学校  
正月の遊び交流

※それぞれ別日開催

### 活動報告

10月22日(土)  
児童センター  
歴史ウォーキング

毎年行われている児童センターの秋のウォーキングに参加しました。今井各地の史跡を巡りその解説を担当しました。



## 福祉交流部会

障害を理解し支え合える地域づくりを進めます

### 今年度の事業計画案

#### 「あいサポーター研修」の実施

様々な障がいの特性や困りごと、必要な配慮を理解し、実践することで、地域住民が共生社会を作っていくための勉強会を実施します。

#### 児童センター福祉学習への参加

社協の児童を対象とする福祉学習の講座に参加・体験し、学びます。

#### 牛乳パック・ペットボトルキャップ・プルタブ集め

町会や個人から福祉ひろばにお持ちいただき、松養・共立学舎・松本市社協に提供します。

### 開催予定

11月9日(水)に  
予定されていた  
松本養護学校参観は  
中止となりました。

高齢者部会と共催で  
松本養護学校との  
正月の遊び交流を  
予定しています。

エコキャップ運動

ともいいます



## 健康部会

皆さんの健康づくり・体力づくりをお手伝いします

### 今年度の事業計画案

#### 健康講座

健康維持・増進を目的とし、明治安田生命さんなどに講座を依頼します。日程は冬季を予定しています。



## 子ども部会

子育て支援や子どもの安全を守る活動を進めます

### 今年度の事業計画案

#### 食育事業

子ども向けのお菓子・おかず作りなどを学び、健康増進を図ります。保護者同士の交流の機会にもなります。また、役員で託児ボランティアを行います。

#### 子どもの見守り活動（子ども守り隊）

小中学生の登下校時の見守り活動を行います。帽子・旗・マグネットなどを配布、貸出も行い、意識の向上を図ります。

### 開催予定

11月6日（日）  
大きな  
ホットケーキ作り

【今井地区文化祭内】  
※育成会共催



## 総務部会

地域の福祉活動について広報し、福祉協議会全体事業の企画・周知をします

### 今年度の事業計画案

#### 福祉計画の再編集・周知

総会で承認された福祉計画を再編集し、完成版を作成します。福祉計画は「よってきましょ！」に複数回掲載し、地域の方々へ周知します。

#### 広報「よってきましょ！」の発行

今井福祉協議会の活動予定と報告を掲載します。今年度は秋・冬・春号の発行を予定しています。

#### 福祉協議会全体事業の推進

今井福祉協議会の活動を立案し、実行します。

### 開催予定

11月6日（日）  
ふれあい配食  
防災啓発

【今井地区文化祭内】

12月11日（日）  
ふれあい配食

令和5年  
2月11日（祝・土）  
ふれあいそば配食



※こちらの見開きページで使用している写真は令和元年度～3年度のものを含みます。

## 今井福祉協議会はどんな組織？

「今井地域福祉計画」を推進していくための**自主組織**です。

- ・今井地区の各種団体、施設を網羅しているため、様々な立場の人が地区活動に関わっています。また、横の連携もできています。
- ・5部会に分かれており、分野ごとに様々な活動をしています。

### 「今井地域福祉計画」とは…？

今井に根付く「共同の精神」「お隣同士の助け合いの精神」に基づき、単に行政に頼るのではなく、地区住民が自らの問題としてとらえ、自らの知恵と力を出し合い自らの手により「住みよい今井づくり」を目指すものです。平成17年度に策定され、平成23年度に一度大々的な見直しと策定、令和2年度にその時代のニーズにあわせて更なる見直しを行いました。

次号から見直された今井地域福祉計画を抜粋して掲載していきます。

# 今井の文化・伝統-「今井のふるさと歌留多」から-



## 悠久の 歴史を語る 弥生坂

昭和3年御大典記念(昭和天皇即位)として道路の開削工事が行われた際、住居跡と共に打製石斧や土器片が出土しました。当初の見立てでは弥生式土器との事で、この坂の名が付いたと言われています。昔は馬頭観音の碑が沢山祀られているからか、北側の沢沿いに登り観音坂と呼ばれていました。馬頭観音の他光明真言供養塔・善光寺念仏・御嶽講等多数の碑、秋葉様の祠などが祀られ言わば上新田の聖地とも言えます。

弥生坂、今井民謡に唄われている様に桜の名所だったと言われます。



## 四本の 柱が誇り 宮相撲

兼平神社に江戸相撲世話役、浦風林右衛門の「四本柱相撲免許状」なる物が伝わります。いつ頃かの明記は有りませんが文政期頃(1818~1830)の物と思われます。その時代にはお宮で行う草相撲でも、丸い土俵の周りに四角い土俵を組み、四隅に柱を立て相撲を取るには、江戸相撲の世話役の免許状が必要であったと言われています。この近隣でこの免許状を持つのは、小野神社・砂田(いさごだ)神社(島立三ノ宮)と兼平神社の三社のみと言う大変権威のあるものでした。

また、堂村の上條庄三郎さん宅には名古屋の三越が手掛けた名力士「信濃川」の正絹の化粧まわしが伝わります。



## 雷雨呼ぶ 正覚院の 龍洗う

正覚院の本堂の正面の竜の彫物を水で洗えば雨が降ると言い伝えられています。日照りが続き扇子川が干上がると下今井四耕地の役員がこの行事を行います。この時は銅鑼を叩いて人を集めこの竜を降ろし、付近の小川で水を掛けて洗います。その後本堂の須弥壇に安置して、正覚妙竜・竜宮高天の二神(黒い木のお札に金色で神名が書いてある)に向かって法螺や太鼓を打ち鳴らして読経祈願致します。そして参列者がお神酒を頂きます。この事は神仏に祈る事ばかりで無く、竜を川で洗う為川に僅かですが水が流れ、少しでも長く竜を洗ってれば、少しでも多くの水が得られる、という悲しい程の現実的な利得が隠されていたと言われています。



## りんご なし ぶどう ももなど 八百万

この絵は今井の道の駅に掲げられています。今や「今井 道の駅」は他地区の皆さんが今井と言えば「道の駅」を思い浮かべる程、今井一番の名所です。しかしこの道の駅も中信平一の農業地帯「今井」に支えられているとも言えます。方々に道の駅が設けられていますが、これだけ大きな農業地帯を背景に持った道の駅は数少ないでしょう。これも開発と言う絵物語に抗い、必死で農地を守った先人の血と汗と涙の賜物です。

今井の農業を思う時、戦前幾度となく今井を訪れ農業の道を説き、人の道を説いた江渡狄嶺(えと てきれい)の教えに思いを馳せます。

問い合わせ先 今井福祉協議会

■今井地域づくりセンター・公民館 TEL (0263) 59-2001 | ■今井福祉ひろば TEL (0263) 50-3188